

端野自治区内事業資料

(各課ごとの事業一覧)

(平成26年度～平成28年度)

市民環境課、教育事務所総務課、端野町公民館、生涯学習課、
端野図書館、建設課、総合支所総務課

【市民環境課】

6.市民とつくる信頼と協働のまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(5)住民自治の推進	4,148				4,148	500				500	8,652				8,652
地域センター維持補修事業	4,148				4,148	500				500	8,652				8,652
端野総合支所 市民環境課	一区生活センター床改修工事 (老人研修室の畳取替え及び研修室1・2のピーベツ からフローリングへの改修)					屯田農村生活センター研修室B畳取替え					川向文化センター外壁塗装				

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	端野自治区内にある地域センター8館の中には、建設から20年を経過し老朽化するセンターもあることから、年次計画により改築を行なうことにより、施設の長寿命化を図る。
事業の手段とその効果	床のフローリング化、合併浄化槽の設置による多目的トイレの設置やトイレの水洗化、洋式化、手すり設置や床の段差解消など利便性の向上を図り、また、外壁・屋根の塗装など市民ニーズに応えられる施設補修を行なうことにより、誰もが利用しやすい施設として、利便性の向上、地域コミュニティの活性化、災害時の受け入れ態勢の整備が図られる。また、早期のメンテナンスにより施設の老朽化を防ぐことができる。

【端野教育事務所 総務課】

2.豊かな心と文化を育てるまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(4)小中学校教育の充実	1,087,407	338,600	665,100		83,707	967,021	247,600	609,400		110,021					
端野小学校改築事業	1,087,407	338,600	665,100		83,707	967,021	247,600	609,400		110,021					
端野教育事務所 総務課	校舎建設(継続事業)、屋内運動場建設(継続事業)、 グラウンド整備工事					校舎建設(継続)、屋内運動場(継続)、プール建設、 外構工事、移転開校経費、旧施設解体工事(10月以 降)									

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	端野小学校は、昭和51年に建設され37年を経過する。昭和56年の新耐震基準以前の設計であることから、耐震構造も不十分で老朽化が著しい。市街地中心部から距離があり、児童の通学負担が大きい。加えて、河川堤防に隣接して建設されていることから、災害時の児童の安全に対して不安の声があることから移転改築する。
事業の手段とその効果	教育環境の改善と児童の通学の負担を軽減を図るために移転改築を行う。移転改築場所は、児童を介したコミュニティ形成など、学校を地域の核にすえたまちづくりに貢献する位置である。先に建設された中学校とともに小中連携を図ることができる。

【端野教育事務所 総務課】
2.豊かな心と文化を育てるまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(4)小中学校教育の充実	17,260				17,260	80,244		76,200		4,044					
端野小中学校教員住宅改築事業	17,260				17,260	80,244		76,200		4,044					
端野教育事務所 総務課	住宅用地購入(1,200㎡) 住宅実施設計(4戸)					住宅建設(4戸)									

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	端野小・中学校の教員住宅が老朽化しており、さらに移転改築した中学校および小学校の移転改築に伴い、校長・教頭住宅を学校敷地付近に新築する。あわせて既存の住宅の解体を行う。
事業の手段とその効果	校長・教頭住宅を学校敷地に近い場所に設置することにより、学校管理の機能が強化される。

【端野教育事務所 総務課】
2.豊かな心と文化を育てるまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(4)小中学校教育の充実						19,067	2,500	14,700		1,867					
スクールバス更新事業 端野自治区						19,067	2,500	14,700		1,867					
端野教育事務所 総務課						スクールバス(45人乗り)1台の購入(平成元年車のバスの更新) 平成25年8月末 513,600km									

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	端野小・中学校へ通学に使用するスクールバスは現在5台で、平成24年度で2台のバスを更新した。平成元年に購入したスクールバスは老朽化が著しく、計画的に更新し児童・生徒の通学の足の確保を図る。
事業の手段とその効果	スクールバス更新により、交通手段の安全が確保される。

【端野町公民館】

2.豊かな心と文化を育てるまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(2)生涯学習の充実	27,265				27,265										
端野町公民館ボイラー更新事業	27,265				27,265										
端野町公民館	端野町公民館ボイラー交換(熱源重油) ボイラー 2基 ボイラー室内配管														

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	開館23年を経過し、施設設備が老朽化している。特に現在2機ある暖房給湯用ボイラーが老朽化し、ボイラーの故障修理が多く、作動不能になるかが危惧される状況にある。 避難所の指定施設でもあり、冬季間故障した場合、予約利用者への影響が大きいことから、早急に交換工事が必要である。
事業の手段とその効果	施設・設備改修を実施することにより、施設が常に良好な状態となり、公民館利用者に対し、安心・快適な施設として提供することができる。

【端野町公民館】

2.豊かな心と文化を育てるまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(2)生涯学習の充実	8,770				8,770	7,299				7,299	6,503				6,503
端野町公民館照明LED交換事業	8,770				8,770	7,299				7,299	6,503				6,503
端野町公民館	端野町公民館全館の照明のLEDへの更新。1年目 誘導灯・廊下・風除室・トイレ・洗面所					端野町公民館全館の照明のLEDへの更新。2年目 事務所・固定席ホール・調理実習室・研修室1・研修室2・談話室					端野町公民館全館の照明のLEDへの更新。3年目 多目的ホール・実習工作室・視聴覚室・和室1・和室2				

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	施設の照明をLED照明に変更することにより、省エネ及び電球交換が少なくなり経費削減が図れる。また、トイレについてはセンサーを設置し、使用時のみの照明にすることにより電気使用料の削減となる。全施設の使用状況を考慮し3年計画により交換する。
事業の手段とその効果	施設照明も3ヵ年かけてLED照明にすることにより、大幅な経費の削減が図られる。

【端野町公民館】

2.豊かな心と文化を育てるまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(2)生涯学習の充実	3,950				3,950										
端野公民館設備改修事業	3,950				3,950										
端野町公民館	和式大便器を洋式大便器(8基)に交換。 固定席舞台及び多目的ホールの埋め込みコンセン等交換。														

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	生活様式の変化及び高齢の利用者も多く洋式の大便器の設置の要望が増えている。洋式箇所が少ないために、イベント等の休憩時に混雑がみられることから、改修し使用者の利便性を図る。 現在使用のT型20A差込接続器はプラグが破損しやすい欠点があり、電気用品技術基準の改正に伴い、「危険の恐れがあるもの」とみなされ使用禁止となっていることから、早急に改修が必要である。
事業の手段とその効果	和式便器を洋式便器に改修し、利用者の利便性を図る。 認可されているC型20A差込器具に交換し、安全な施設整備を行う。

【端野町公民館】

2.豊かな心と文化を育てるまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(9)芸術・文化活動の振興	2,000				2,000	2,000				2,000					
端野町公民館文化鑑賞推進事業	2,000				2,000	2,000				2,000					
端野町公民館	一般向け文化鑑賞事業の実施					一般向け文化鑑賞事業の実施									

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	平成23年度、開館20周年記念事業で実施した文化鑑賞推進事業を広く市民の芸術文化振興を図ることを目的として、5年間を目途に実施する。
事業の手段とその効果	芸術文化に親しむ機会を提供することにより、社会教育の振興、生きがいが潤いのある生活を見出す端緒となる。

【生涯学習課】

2.豊かな心と文化を育てるまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(10)生涯スポーツの振興						15,500				15,500					
端野町農業者トレーニングセンター暖房温水機更新事業						15,500				15,500					
端野教育事務所 生涯学習課						温水機設置工事 一式 (真空式 733KW A重油焚)									

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	老朽化(1983年設置 耐用年数18年)している暖房用温水機(A重油焚き)を更新する。
事業の手段とその効果	施設内の暖房は、この温水器1基を熱源とする温水暖房のみのため、冬期間の安定的な利用及び災害時の避難所としての機能を維持するためにも更新が必要である。

【端野図書館】

2.豊かな心と文化を育てるまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(2)生涯学習の充実	6,295				6,295										
端野図書館整備事業	6,295				6,295										
端野図書館						(1)玄関階段・スロープ修繕 (2)照明機器修繕 (3)図書館ボイラー更新 (4)自動体外式除細動器(AED)設置									

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	情報館としての役割を踏まえ、幼児期から老年期までの幅広い年代と、多様化する市民のニーズに応えるため、目的達成のため施設の維持管理を行う。
事業の手段とその効果	図書館は昭和53年開館、以来35年間使用した暖房用ボイラーの耐用年数(15~20年)が大幅に経過しているため、計画的な更新を行う。また、年間12,700人以上の来館者がある施設として、利用者の安心・安全に応える。

【建設課】

5.住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(5)水道水の安定供給と下水道の整備	12,950	6,000	6,700	250		30,950	10,000	20,700	250		20,950	10,000	10,700	250	
端野地区特定環境保全公共下水道整備事業(雨水管渠)	12,950	6,000	6,700	250		30,950	10,000	20,700	250		20,950	10,000	10,700	250	
端野総合支所 建設課	下水道雨水管の実施設計					下水道雨水管の整備 整備予定延長 L=200m 面積A=0.5ha					下水道雨水管の整備 整備予定延長 L=200m 面積A=0.5ha				

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	近年の大雨による浸水被害の発生は、全国的にも大きな問題となっており、端野自治区内でも被害の発生が懸念される箇所があることから、雨水管の整備を行う。
事業の手段とその効果	雨水管整備による浸水被害の防止。

【建設課】

5.住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(5)水道水の安定供給と下水道の整備	2,350		2,100	250		2,350		2,100	250		2,350		2,100	250	
端野地区特定環境保全公共下水道整備事業(汚水管渠)	2,350		2,100	250		2,350		2,100	250		2,350		2,100	250	
端野総合支所 建設課	公共汚水枡設置					公共汚水枡設置					公共汚水枡設置				

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	平成4年度に事業着手し、汚水管渠の整備も進んできているが、生活環境の向上や自然環境の保全に向け継続して整備を行う。
事業の手段とその効果	汚水管の整備により、生活環境の向上や自然環境への負荷の低減が図られる。

【建設課】

5.住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(5)水道水の安定供給と下水道の整備						13,300	5,800	7,000	500		6,700	2,500	3,700	500	
端野町下水道管理センター整備事業						13,300	5,800	7,000	500		6,700	2,500	3,700	500	
端野総合支所 建設課						長寿命化計画策定					水処理・汚泥処理施設実施設計				

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	端野町下水道管理センターは、平成7年に供用開始され、18年が経過し、各機器の消耗劣化が著しいため、計画的な機器更新が必要である。下水道処理施設は、公共用水域の水質保全に重要な役割をはたしており、施設の老朽化は公共用水域の水質悪化につながりかねないことから、現状を把握し、改修計画の策定により、機器の延命化を進めながら放流水質の維持を図る。
事業の手段とその効果	処理機器等の計画的改築により、機器類の延命化及び処理機器の安定化。

【端野総合支所 総務課】

6.市民とつくる信頼と協働のまちづくり

(単位:千円)

事務事業名	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源	事業費	国道支出金	地方債	その他	一般財源
(5)住民自治の推進	1,500			683	817	1,500			590	910	1,500			447	1,053
端野まちづくりパワー支援補助金	1,500			683	817	1,500			590	910	1,500			447	1,053
端野総合支所 総務課	5人以上の団体が行う安心安全な地域づくり、地域の生活環境の改善、自然環境保全、地域の伝統・文化・スポーツの振興、子どもの健全育成、地域の特性を生かした産業振興、その他個性豊かな住みよい地域社会の構築などのまちづくり活動事業に対し、補助する(平成24年度から平成28年度の5年間サンセット方式)。 自治区毎に予算計上し、各まちづくり協議会が審査機関となる。					5人以上の団体が行う安心安全な地域づくり、地域の生活環境の改善、自然環境保全、地域の伝統・文化・スポーツの振興、子どもの健全育成、地域の特性を生かした産業振興、その他個性豊かな住みよい地域社会の構築などのまちづくり活動事業に対し、補助する(平成24年度から平成28年度の5年間サンセット方式)。 自治区毎に予算計上し、各まちづくり協議会が審査機関となる。					5人以上の団体が行う安心安全な地域づくり、地域の生活環境の改善、自然環境保全、地域の伝統・文化・スポーツの振興、子どもの健全育成、地域の特性を生かした産業振興、その他個性豊かな住みよい地域社会の構築などのまちづくり活動事業に対し、補助する(平成24年度から平成28年度の5年間サンセット方式)。 自治区毎に予算計上し、各まちづくり協議会が審査機関となる。				

☆事務事業の目的

事業の目的と妥当性	自治区において、行政に頼らないで市民自ら考え、自ら実践する自主的、自立性にもとづくまちづくり活動を推進することを目的とする。市から市民活動団体に対して交付する補助事業であり、市の付属機関であるまちづくり協議会が審査を行うため、自主性、自立性を重んじた補助のあり方として適切である。
事業の手段とその効果	5人以上の団体が行うまちづくり活動事業に対し補助する(平成24年度から平成28年度の5年間サンセット方式)。自治区毎に予算計上し、各まちづくり協議会が審査機関となる。 個性豊かで活力ある、住みよい地域社会を構築するために、地域の活性化に向けて住民が「自ら考え、自ら実践する」まちづくりが推進されている。